

令和 7 年 11 月 11 日

町民と議員のタウンミーティング in 北大出区 開催報告

報告者 林 政美

- 開催日時 令和 7 年 10 月 11 日 Pm18:00～
- 開催場所 北大出ふれあいセンター
- 出席者 議員12名 北大出区民 37名

【概要】

- 林議員が司会進行を務めタウンミーティングの開催
- 津谷副議長により主催者挨拶
- 北大出区長により区の概要説明
- 議員自己紹介
- 主に出された意見、質問等

- ・北大出区の道路環境整備に関する議論
- ・文化財保護と神社の維持管理に関する質問
- ・人口減少問題と子育て支援策についての意見交換
- ・農振法の解除と土地利用に関する議論
- ・農業振興センターの運営体制についての質問
- ・外国籍住民への支援と多言語対応についての提案
- ・高齢者福祉と地域の見守り体制についての意見交換
- ・松くい虫対策と山の保全についての議論



【要約】

冒頭、北大出区長より区の概要説明があり個人情報保護の観点から平成 30 年度以降区民名簿の更新がなく、現在は 411 世帯が加入していること、75 歳以上の区民が 272 名いることが報告されました。

会議では主に以下のテーマについて議論されました。

○道路環境整備に関する議論

高島氏から北大出区の道路環境整備に関する質問がありました。林議員は以前の区総会で道路問題研究会の設立を提案したことを説明し、これは議員としてではなく区民の立場からの提案であったと述べました。

高島氏は以前あった道路環境委員会や道路促進期成同盟が 4、5 年前に消滅したことに触れ、その復活の可能性について質問されました。小林議員は新町地区での道路委員会の活動や国道 153 号線バイパスに関する取り組みについて説明しました。

高島氏は道路建設によるメリット・デメリットを指摘し、特に地区が分断されることへの懸念を表明しました。春日街道が通っても発展していない現状を例に挙げ、北大出区の融和団結を保つことの重要性を強調しました。

○文化財保護に関する質問

神明神社総代の林氏から、神明神社の船祭りが町の文化財に指定されていることに触れ、神社の社務所や神殿の傷みが激しいことから、文化財保護に対する町からの助成制度について質問がありました。

津谷議員は現在町では文化財保護の補助制度はないが、文化庁が提供する補助金制度があることを説明しました。また、伝統文化を継承していくためには子どもたちへの継承活動も重要であることを強調しました。一ノ瀬の熊野神社の例も挙げられ、基本的には地域住民の寄付金で維持されている現状を説明されました。

○人口減少対策と農振法に関する議論

宮原氏から辰野町の人口減少問題と農振法の見直しについて質問がありました。吉澤議員は人口減少が日本全体の問題であることを指摘しつつ、子育て環境の整備や病児保育施設の設置など、町が取り組んでいる施策を説明しました。小林議員は子ども家庭センターの設立や子どもの権利条例の制定など、町の取り組みについて補足しました。農振法については、小沢議員が春日街道沿いに店舗を出したいという相談を受けたことに触れ、農振解除には 6 項目の要件があり、個別相談が重要であると説明しました。宮原氏は個人ではなく町として農振法見直しに取り組むべきだと主張しました。

○農業振興センターの運営に関する質問

林氏から林議員が農業振興センターの事務を担当していることに関して、行政と議会の分離の観点から質問がありました。向山議員は農業振興センターの運営体制について説明し、林議員個人が決定権を持っているわけではなく、議員全体として農業政策をチェックする機能は維持されていると述べました。林議員自身も農業振興センターは役場の産業振興課、JA、農業農村支援センターの三者で構成されており、自身は事務局の立場であること、月一回の代表幹事会で方向性が決められていることを説明しました。また、後継者も出てきているため、今後相談して決めていきたいと述べました。

○外国人住民への支援について

岡崎氏から外国籍住民への言語サポートの必要性について意見がありました。地球人ネットワークでの活動を通じて、外国人住民が日本語習得に努力していることを紹介し、役場や病院での多言語案内の必要性を訴えました。北大出区には 46 人ほどの外国籍住民がおり、災害時の避難情報なども多言語で提供すべきだと提案しました。松沢議員は病院ではローマ字表記を採用していることや、行政職員が「やさしい日本語」の講座を受講していることを説明しました。また、古村議員から AI やタブレットを活用した多言語対応の可能性について言及されました。

○高齢者福祉と地域連携について

福祉委員の高島氏から、いきがいクラブの活動を通じて感じる高齢者の緊急時対応や地域連携の課題について質問がありました。クラブには 90 代から 70 代の高齢者が参加しており、緊急時の連絡先や医療情報の把握が難しい状況が説明されました。津谷議員は安心安全バトンの活用や地域での見守り体制の重要性について説明しました。安心安全ボタンは冷蔵庫に保管され、緊急時に救急隊が確認できるシステムであり、今後は QR コードの活用も検討していると述べました。松沢議員も地域でのコミュニケーションを通じた情報共有の重要性を強調しました。

○松くい虫対策と松茸山の維持管理

宮原氏から松くい虫対策と松茸山の維持管理に関する課題が提起されました。松茸山の維持には組合だけでは難しく、水源地や道路の維持管理も含めて何らかの補助が必要だと訴えました。林議員は松くい虫対策の計画について説明し、1060 メートル以上の山を守るべき山として指定する計画があるが、それ以外にも地域ごとの事情に合わせた計画が必要だと述べました。向山議員は国の法整備が進んでいるものの、予算面での課題があることを指摘し、特に辰野町は赤松林が多いため、その保全が重要だと強調しました。

○閉会と議員からの補足説明

タウンミーティングの終了に際し、発言できなかった議員からも発言がありました。牛丸議員は 153 号バイパスの整備状況について、来年度に複数のルート案が提示される予定であることを報告しました。栗林議員は少子化問題に関して、町単独での事業には限界があるため、国や一般社団法人との業務提携を提案していることを説明しました。高木議員は 6 人の子ど

もを育てる母親として、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境づくりの重要性を強調しました。林議員は会議で出された意見を整理し、町に要請していくことを約束して閉会しました。

○参考発言(要旨)

議員側

- ・ 道路:県ルート案提示予定、長期戦を認識。
- ・ 少子化:病児保育の実現、今後は給食の無償化なども検討。国や外部団体と連携し、費用の最適化を図る。
- ・ 多文化:やさしい日本語の徹底、AI 通訳活用。
- ・ 高齢者:安心安全ボタン普及、支え合いマップ運用強化、デジタル活用の提案。
- ・ 山林:国法制の変化を踏まえ、地区別計画の必要性を強調。

住民側

- ・ バイパスの地域分断・環境影響への強い懸念と配慮要請。
- ・ 文化財・祭礼への町の支援不足の指摘と恒常的予算化の要望。
- ・ 子育て・居住地整備の独自性とスピード感を求める声。
- ・ 行政・議会のガバナンス・情報提供の透明性向上の要望。

○検討課題

- ・ 北大出区の道路委員会(仮)設置に向けた体制案と年度内のアクションプラン。
- ・ 富士山トイレ修繕の費用分担スキーム(町補助・区負担・時期)の整理。
- ・ 文化庁補助申請の可否判断(神明神社等の案件化、申請支援の段取り)。
- ・ 子育て施策の優先実施案(周知強化と新規施策の費用対効果試算)。
- ・ 多言語サイン・AI 通訳の配備計画と避難所運用手順書の整備。
- ・ 安心安全ボタンの普及率向上計画と QR コード化の実証企画。
- ・ 松くい虫対策の地区別計画素案作成と財源メドの提示。